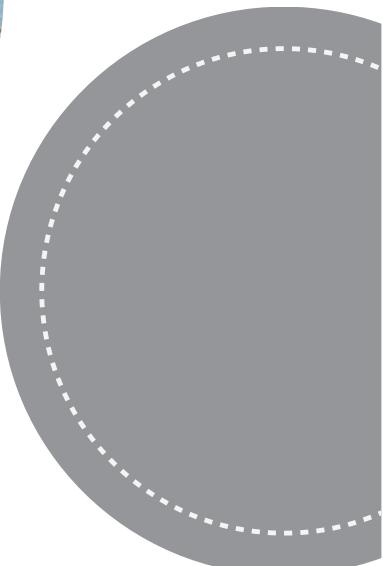




OWNER'S MANUAL

For the inflatable SUP

AKUALAのスタンドアップパドルボードは空気を入れて膨らませるインフレータブル式。従来のハードボードに劣らない、しっかりとした安定性の高いインフレータブルボードです。AKUALAのSUPボードで、アウトドアレジャーをより簡単に、そしてウォータースポーツを気軽に楽しむことができます。



Product introduction



Usage method



Operation steps



<http://www.ninehills.co.jp/>

STAND UP PADDLEBOARD

BRAND | AKUALA



▲ SUP本体



▲ ウィール付き
キャリーバッグ



▲ センターフィン×1、サイドフィン×2



▲ リーシュコード



▲ リペアキット



AKUALA+
JOURNEY116



AKUALA+
FISHER110



AKUALA+
WINDRIDER106



AKUALA+
LIGHTING100

弊社のボードは、紫外線による風化や黄変から保護するためPVCで構成されています。ただし、ボードの柔軟性と元の色を長く維持するために、天候や直射日光にさらされる可能性のある場所にボードを保管しないようにしてください。

OPEARATING INSTRUCTION

1. 使用の安全性

スタンドアップパドルボードは、場合によっては使用者や周囲の人を危険に陥れたり、事故を誘発する可能性のあるスポーツです。本製品またはそれに係わる製品を使用する方は、障害を負ったり、死亡する場合もあり得ることを理解しておかなければなりません。使用前にこの取扱説明書と製品に記載されている警告ラベルをお読みください。

2. 安全チェックリスト

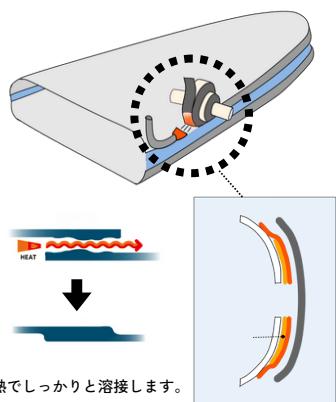
- ・一人でスタンドアップパドルボードを行わないでください。
- ・必ずリーシュコードを使用してください。
- ・必ずライフジャケット（救命胴衣、フローティングベスト）を着用してください。
- ・安全な場所でご使用ください。
- ・天候情報を調べてください。悪天候の海は非常に危険です。
- ・風が強かったり波が高いときは使用しないでください。
- ・自分の能力以上の行動はしないでください。
- ・暗い場所で使用しないでください。
- ・大人の監督なしに未成年者に使用させないでください。
- ・飲酒や心身に影響を及ぼす薬品・薬物を使用して本製品を使用しないでください。

BOARD CONSTRUCTION

接着剤を使用しない最新技術

【熱溶接】

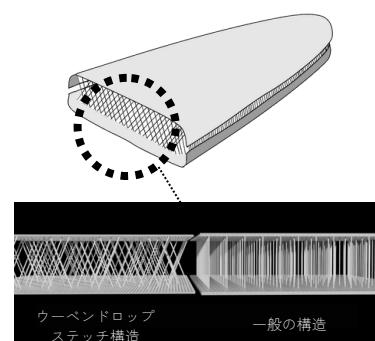
熱溶接技術は特殊なプロセスで2枚のPVC生地を熱で接着させます。AKULA+モデルは、本体の構造部分に熱溶接を使い生地同士を完全結合することで、はるかに強力で長持ちするSUPボードになりました。



剛性と軽量化

【ウーベンドロップステッチ】

中間糸と強度と剛性の高いベース糸が組み合わされた構造。より強くて、硬く、しなやかなボードにした最新の技術です。中間糸が少なく、使用する材料が減ったことにより、安定性はそのままで、強度を保ちながら、最大1.5KG程度の軽量化が実現。最大20PSIまで膨らませることが可能になりました。



SUP BASIC INTRODUCTION

DETAIL

ACTIVE LIFE

カメラ取付用ねじ穴

GoProアクションカメラを取り付ける台座付き。クルージングなどの際、撮影しやすくなりました。

バンジーコード

ドリンクやその他の荷物をしっかりと固定できます。パドルを挟めておくこともできます。

ハンドル

ボードのセンターに持ち運ぶときに便利なハンドルが付いています。

パドル固定テープ

パドルを固定できます。

エアバルブ

ポンプの先端を本体のバルブに差し込んで回すとフックが引っかかりロックされます。ワンタッチで空気の排出ができます。

ハンドル

ノーズとテールのハンドルそれぞれを持てば2人で持ち運べます。



ロゴ

ボードの外観をより美しく。

フィン

センターフィン×1
サイドフィン×2

ACCESSORIES

セット内容



SUP



BACKPACK



LEASH



2+1 TAIL FIN



REPAIR KIT



- ・ ウィール付き
- ・ 上部とサイドに持ち手付き
- ・ リュックにもなります。



- ・ 接続部は360度回転する設計で、より安全に、より自由に動けます。



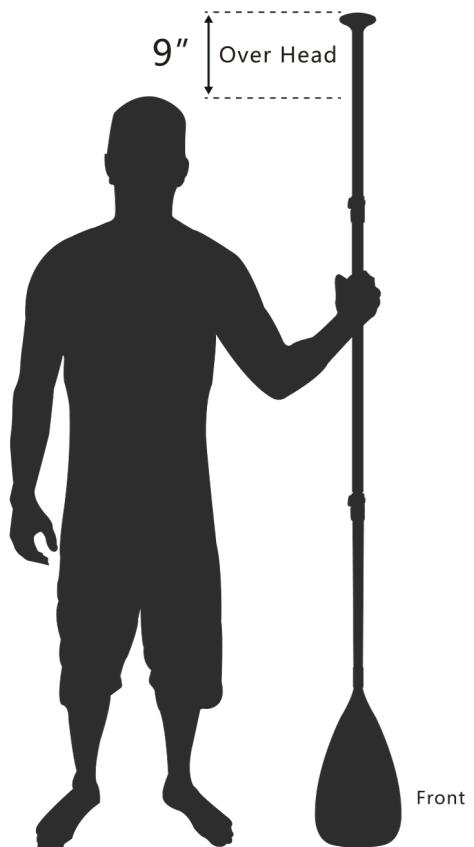
- ・ ワンタッチで簡単脱着
- ・ 耐久性に優れた丈夫な素材



- ・ レンチでバルブの開け閉め可能
- ・ パッチでSUP本体の傷や穴を修理可能

【使い方】

- ・パドルは、ハンドルが自分の身長より20cm長めになるよう
に調整します。
- ・ボードの中央で上体を起こして、足は肩幅くらいに広げま
す。顔は進行方向を常に向くようにし、膝は少し曲げ、身
体は力を抜きリラックスさせます。
- ・パドル上部のグリップを片方の手でしっかりと握ります。も
う片方の手をパドルのシャフトの半分に置き、腕を少し曲
げて前から後ろへパドルリングします。パドルのブレード
は自分より奥に向かって曲がっている状態が正しい向きに
なります。
- ・右側だけ連続でパドルリングをすると左に曲がっていき、
左側だけ連続でパドリングすると右に曲がっていきます。



FIN INSTALLATION

センターフィン(Quick Lock Fin)の取り付け方



①フィンをフィンボックスの上部
から挿入します。



②フィンをそのまま下げるだけ
でロックされ、装着完了です。

サイドフィン(GRI Fin)の取り付け方



①フィンをフィンボックスの上部
から挿入します。



②クリップを下してフィンをロック
し、装着完了です。

サイドフィン(Click Fin)の取り付け方



①サイドフィンを差し込み、下へスライドさせて装着完了です。

クリックフィンはST Global, Inc.社の新製品です。使い方と特性は下記QRコードにて確認できます。

装着脱着簡単。特に川下りなどの場合、フィンが脱着しやすいのは本体を守ることになります。普通のクルージングの際はネジで固定するなら紛失を防止できます。（クリックフィンはFCSのフィンで代用可能です。）



付属のネジで固定すると紛失防止になります。



<http://www.clickfins.com/#products>

空気の入れ方

※未使用の場合でも運送時などにバルブが緩むことがございますので、ご使用前に空気が漏れていなかご確認下さい。



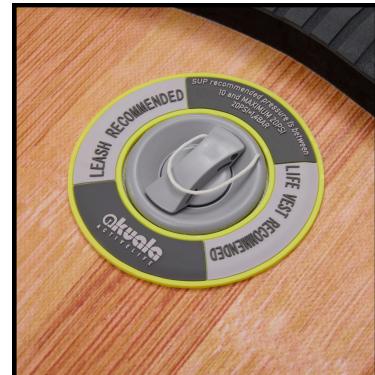
①バルブカバーを取り外します。



②中央のボタンを押しながら反時計回りに回し、ボタンが上がったのを確認します。



③ホースを時計回りに回し入れて固定します。必要な空気圧の基準12 - 18PSI、（最大20PSI）まで空気を注入します。



④バルブカバーを時計回りに回して、しっかりと締めて固定してください。

空気の抜き方



①バルブカバーを取り外します。



②バルブ中央のボタンを時計回りに回して押し下げ、固定するとボードから空気が排出されます。



③バルブカバーを時計回りに回して、しっかりと締めて固定してください。

◎エアコンプレッサーの使用による破損は、ボードの保証の対象外です。過膨張によりボードに損傷を与える可能性があるため、使用しないでください。

◎2~3日後、温度の変化により圧力がわずかに低下する場合があります。その場合、ポンプで空気を入れてください。

◎長い距離をパドリングする場合、ボードを使用する約24時間前にはボードを膨らませて、空気漏れしていないことを確認するようにしてください。空気圧が低下していることに気付いた場合は、リーク検出の指示に従ってください。

◎ボードを規定空気圧以上に膨らませないように注意してください。このボードは12~18PSIまで、最大20PSIまで膨らませることができます。

◎空気を入れたボードを、長時間日光に当てないでください。ボードが温かい環境にある場合は、ボードを少し膨らませて、太陽からの熱で内圧を上げます。パドリングするときは、水温が低いと空気圧がわずかに低下する可能性があるため、ポンプをすぐに使えるようにしておくことをお勧めします。

ご質問は下記のメールアドレスにお願いします。
お問い合わせ : info@ninehills.co.jp

